



2019年3月期 第3四半期決算短信 [日本基準] (連結)

2019年2月8日

上場会社名 日精樹脂工業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6293 URL <http://www.nisseijushi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 依田 穂積
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 荻原 英俊 TEL 0268-82-3000
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	32,242	3.6	2,825	6.2	2,858	0.3	2,061	2.0
2018年3月期第3四半期	31,130	15.9	2,659	25.7	2,849	76.6	2,021	66.8

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 1,880百万円(△23.6%) 2018年3月期第3四半期 2,462百万円(208.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	103.12	101.64
2018年3月期第3四半期	101.13	99.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	55,249	33,371	60.1
2018年3月期	56,476	31,857	56.2

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 33,193百万円 2018年3月期 31,712百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	13.00	—	10.00	23.00
2019年3月期	—	10.00	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	—	—	15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	45,500	7.5	3,400	9.6	3,500	4.3	2,200	49.0	110.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社（社名）、 除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	22,272,000株	2018年3月期	22,272,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	2,284,385株	2018年3月期	2,284,382株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	19,987,617株	2018年3月期3Q	19,987,639株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に穏やかな回復基調で推移いたしました。人手不足問題、資材価格の高騰や主要部品の納期長期化による影響が懸念されております。海外におきましては、米国では雇用環境の改善や所得税減税政策を背景とした個人消費の持ち直し等の改善がみられたものの、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速による景気牽引力の低下等先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループが属する射出成形機業界におきましては、中国等で需要が減速しておりますが、国内および米国では堅調に推移しました。

このような状況の中、当社グループは現中期経営計画の最終年度として、「真のグローバル経営の強化」を目指し事業を展開しております。この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、主力である射出成形機の需要が概ね堅調だったことから、売上高合計は322億4千2百万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。製品別売上高につきましては、射出成形機売上高は249億2千7百万円（前年同四半期比4.0%増）、部品売上高は39億6千7百万円（同0.7%増）、金型等の売上高は14億3千万円（同49.2%増）となりました。一方、周辺機器売上高は19億1千6百万円（前年同四半期比15.5%減）となりました。

利益面につきましては、射出成形機の売上が増加したこと等により、営業利益は28億2千5百万円（前年同四半期比6.2%増）、経常利益は28億5千8百万円（同0.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億6千1百万円（同2.0%増）となりました。

セグメントの状況は以下のとおりです。

① 日本

自動車関連を中心に需要が堅調に推移したこと等により、売上高（外部売上高）は160億7千万円（前年同四半期比4.9%増）と増加しましたが、営業費用等が増加したことからセグメント利益は16億8千4百万円（同13.5%減）となりました。

② アメリカ地域

自動車関連を中心に需要が好調に推移したこと等により、売上高（外部売上高）は72億1千3百万円（前年同四半期比10.6%増）と増加しましたが、射出成形機の売上増に伴い、営業費用等が増加したことからセグメント利益は3億2千4百万円（同36.8%減）となりました。

③ アジア地域

自動車関連およびIT関連等を中心に中国等での需要が鈍化したこと等から売上高（外部売上高）は89億5千8百万円（前年同四半期比3.5%減）となり、価格競争の激化や営業費用等が増加したことからセグメント利益は5億9千8百万円（同16.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ12億2千6百万円減少し、552億4千9百万円となりました。主たる増加要因は、仕掛品の増加7億2千9百万円および原材料及び貯蔵品の増加7億1千6百万円であり、主たる減少要因は、未収入金の減少24億4千9百万円および現金及び預金の減少8億8千1百万円ならびに受取手形及び売掛金の減少5億7千万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ27億4千万円減少し、218億7千7百万円となりました。主たる減少要因は支払手形及び買掛金の減少15億4千3百万円および長期借入金の減少3億4千7百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ15億1千4百万円増加し、333億7千1百万円となりました。主たる増加要因は利益剰余金の増加16億6千1百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績につきましては、本資料の開示時点において、2018年5月7日に公表した各予想値を修正しておりません。

今後、受注状況や環境要因の変化等を勘案し、業績予想の修正が必要と判断される場合には、可及的速やかに開示することといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,441	11,559
受取手形及び売掛金	9,946	9,376
電子記録債権	717	683
商品及び製品	5,623	5,706
仕掛品	2,055	2,784
原材料及び貯蔵品	5,707	6,423
未収入金	5,266	2,817
その他	459	1,315
貸倒引当金	△512	△340
流動資産合計	41,704	40,326
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,946	4,665
機械装置及び運搬具（純額）	1,313	1,471
土地	4,376	4,407
その他	2,211	616
有形固定資産合計	10,848	11,160
無形固定資産	450	448
投資その他の資産		
投資有価証券	1,730	1,554
その他	1,745	1,762
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	3,473	3,313
固定資産合計	14,771	14,922
資産合計	56,476	55,249

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,511	13,968
1年内返済予定の長期借入金	767	485
未払法人税等	705	555
引当金	230	164
その他	2,518	2,160
流動負債合計	19,733	17,334
固定負債		
長期借入金	1,499	1,152
退職給付に係る負債	3,199	3,220
その他	185	171
固定負債合計	4,884	4,543
負債合計	24,618	21,877
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,362	5,362
資本剰余金	5,477	5,477
利益剰余金	21,325	22,986
自己株式	△1,096	△1,096
株主資本合計	31,069	32,730
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	595	396
為替換算調整勘定	△1	34
退職給付に係る調整累計額	50	32
その他の包括利益累計額合計	643	463
新株予約権	144	178
純資産合計	31,857	33,371
負債純資産合計	56,476	55,249

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	31,130	32,242
売上原価	22,076	22,527
売上総利益	9,053	9,715
販売費及び一般管理費	6,394	6,890
営業利益	2,659	2,825
営業外収益		
受取利息	5	10
受取配当金	101	125
その他	164	170
営業外収益合計	271	307
営業外費用		
支払利息	4	2
為替差損	34	243
その他	42	27
営業外費用合計	80	274
経常利益	2,849	2,858
特別利益		
負ののれん発生益	104	—
特別利益合計	104	—
税金等調整前四半期純利益	2,954	2,858
法人税等	932	797
四半期純利益	2,021	2,061
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,021	2,061

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	2,021	2,061
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	230	△198
為替換算調整勘定	196	36
退職給付に係る調整額	14	△18
その他の包括利益合計	440	△180
四半期包括利益	2,462	1,880
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,462	1,880

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	アメリカ地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	15,327	6,520	9,282	31,130
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,995	23	5,153	17,172
計	27,323	6,543	14,436	48,302
セグメント利益	1,946	512	718	3,177

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,177
セグメント間取引消去	△518
四半期連結損益計算書の営業利益	2,659

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報(重要な負ののれん発生益)

「日本」セグメントにおいて、104百万円の負ののれん発生益を計上しております。これは当社がホンマ・マシナリー株式会社から事業を譲受けたことによるものです。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	アメリカ地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	16,070	7,213	8,958	32,242
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,461	93	5,517	17,072
計	27,532	7,306	14,476	49,314
セグメント利益	1,684	324	598	2,606

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,606
セグメント間取引消去	218
四半期連結損益計算書の営業利益	2,825

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。